



生徒会スタートに期待すること

校長 橋口 克朗

11月13日(火)、三年生から、一・二年生へ生徒会の引き継ぎ式がありました。先日の生徒会役員選挙で決まった生徒会長、副会長に加えて、書記、会計、各専門部長及び副部長が、賛成多数で承認され、私から代表へ任命証を渡しました。その後、旧生徒会の代表としてこれまで会長として頑張ってくれた柿内美夏さんから(途中省略)皆さんの協力があってここまでできました。たくさん経験しました。新生徒会の皆さん、もっとうい武中をつくってください。」と、後輩に向けて、激励の挨拶がありました。

そして、新生徒会の代表として会長の有満くろみさんから(途中省略)第73代生徒会が発足しました。伝統を大切に、生徒の意見を取り入れ、全員が楽しいという学校にしたいと思えます。三大行事や来年度の山形県鶴岡第二中との交流など、盛り上げていきたいです。皆さんの協力をお願いいたします。」と力強く挨拶してくれました。

伝統ある武中の生徒会らしく、整然としてとてもよい生徒会引き継ぎ式となりました。新しく役員になった皆さんには、武中生徒会役員としての自覚と誇りをもって、一年間頑張ってください。



[新会長へ任命証の授与]



[旧生徒会役員] 皆様辛苦了。



[旧会長の挨拶]



[新生徒会役員紹介] 皆をまとめるには苦労があるけど、君たちならやれると期待しています。



[各学級の新総務の紹介]

奇跡！命のバトンを引き継いで

【2年生】

「生きていくだけで100点満点」

11月9日(金)、2年生を対象に、助産師の方二人を招き、本校体育館で「性に関する教育講演会」を開催しました。

講演後に書いた生徒の感想文をいくつか紹介します。文章一つ一つに生徒の思いが感じられます。



[命のバトンを引き継ぐ]



[妊婦体験の様子]

●私は、改めて生まれてくるとき、そのときまでのお母さんの大変さや苦しさを知りました。また、自分が生まれてくるにはお母さん、お父さんが必要で、そのまたお母さん、お父さんが必要で、そのまた長いリレーで私が生まれているんだなと思いました。生まれてから、もう13年たっているけど、今からでもお父さんやお母さんに感謝したいです。そして、「生きていくだけで100点満点」という言葉を覚えてよかったです。」(女子S・A)

●講師の先生の話聞いて、子供を産むというのは大変なことだと思った。赤ちゃんが産まれるまでには、何ヶ月も重いお腹を支えていかなければならないし、産むときにも大変な痛みと向き合わなければならぬと思うから。そして、10世代さかのぼると、二千人の人が自分に関わっていることも驚いた。これからは感謝を忘れないように生きていきたい。(女子K・K)

●僕が産まれたということ自体がすごいことだと改めて思ったし、それは、みんな一緒なので、人のことも大切にしていきたいです。僕も命をつないでいけるよう、女の人のこともたいせつにしていけるようにしたいです。命の始まりは女の子なので、その女の子を大切にできるようにしていきたいです。(男子T・E)

●今回の講演会でたくさん大切なことを学ぶことができました。今まで私が生きていくこと

は、当たり前だと思っていたけど、今の私が生まれてこられたことはとても奇跡なんだということが分かりました。また、母がとても苦しい思いをして産んだということを知り、心から母に感謝しました。いつか、自分が命のバトンをつなぐとき、今日習ったことを思い出して、新しい命を大切に育んでいきたいです。(女子W・S)



[お腹の中で子どもが育つ]

●わざわざ、この武中にまで来てくださり、素晴らしい講演を聞かせてくださり、ありがとうございました。僕は「子を育てる」ことが、こんなにむずかしい大変なことだとは思っていませんでした。この教育講演会を今後の人生に生かせればと思っています。今、生きているということは、当たり前ではなく、家族などのサポートがあったからということ、ありがたく思わないといけないと感じました。(男子Y・S)

●今回の話を聞いて、改めて命の大切さを知ることができました。バトンの話は、とても印象に残りました。自分の父や母、そのまた父と母のだけれど一人でも欠けてしまえば、今ここに自分はいないのだと思うと、少し恥ずかしいけれど、父と母にありがたうと思えました。これからは、自分の命をもっと大事にし、そして、他の人への接し方も気を付けようと思いました。(男子R・T)

※当日は、約二十人の保護者の方も出席していただきました。講演後の感想からいくつか紹介します。

●助産師さんのお話を聞きながら、自分が妊娠し、出産したときのことを思い出しました。自分には子供が3人いますが、この3人の命もいろんな奇跡があり産まれてきたんだなと感じました。そんな奇跡を自分の子供に伝えられるようにできたらいいなと思います。(母親)

●産まれてくるまでの過程を知ること、これまでに与えられてきた愛情、かけがえない命であることを子供たちも感じてくれる講演だったと思います。自分の命は自分だけではないということを忘れず、どんな壁も乗り越えられていけるような大切な学びの場でした。(母親)

●心と体の主人公になるとうことで、一人だけでは産まれてくることのできない生命の大切さを、段階と踏んで、子供たちにとっても分かりやすくお話ししていただき、性に対する大切さを理解できたと思います。今日はありがとうございました。(母親)



[生徒によるお礼の挨拶]

